





環境報告書[2001年度]

2001 environmental report

目次・はじめに 1
ミニストップの紹介 ·······2
チャレンジ21全社プロジェクト3
ミニストップのめざす エコロジカルなコンビニエンスストア······5
2000年度環境活動の進捗状況7
2001 年度ミニストップ環境目標······ 8
商品の取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
環境配慮型商品群・・・・・・・・・・11
店舗の取り組み・・・・・・・ 13
エコロユニットショップの紹介14
物流の取り組み・・・・・・・・ 15
廃棄物削減の取り組み 16
環境マネジメントシステムについて17
教育 · 啓蒙活動 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
社会とのコミュニケーション活動19
みなさまからのメッセージ 21
理接起生素に実せて 22

できることから ひとつずつ

CS本部環境推進部 部長 川越 靖史

2001年5月で環境推進部ができて3年になります。

これまでの3年間で、ようやく企業として環境に対する 取り組みの第一歩を踏み出すことができました。1999年 度には環境委員会を設置し、2000年度は環境報告書の 第1号を発刊することができました。体裁は整ったものの、 社員や加盟店の環境に対する意識の向上や環境方針の徹 底ができたとは、まだまだ言いきれないのが実情です。

ミニストップはフランチャイズシステムでコンビニエン スストア事業を展開しておりますので、社員はもちろんの こと、加盟店にも理念や方針をご理解いただかないと、 本当の意味での取り組みが実行できたとは言えません。

日々の業務のなかでどれくらい環境方針にそった活動 ができたか、その積み重ねを皆さまにご報告するのが、 環境報告書の役割と考えております。

昨年の環境報告書の表紙に「大切な人の未来のために、 できることからひとつずつ」というメッセージを載せまし たが、今後も毎年1年間できたことできなかったことをで きるだけわかりやすくお伝えしていくことができればと考 えております。

私は3月に環境推進部に着任したばかりですが、これま で3年間担当してきたお客さまサービス部も兼務いたし ます。お客さまの声を直接お聞きする2つの部門を担当 させていただくことを絶好のチャンスと考えています。で きる限りご来店くださる地域のお客さまに参画していた だきながら、企業としての環境への取り組みを推進して参 りたいと考えています。

できることからひとつずつ、地域のお客さまにも読んで いただけるような環境報告書をモットーに編集していきま すので、皆さまのご理解とご支援をいただければ幸いです。

ナビゲーション

本報告書は、ミニストップの取り組みをお伝えするためにわか りやすく、読みやすいものをめざして作りました。P2~P7ま で、ミニストップの2000年度の環境活動をダイジェストとし てまとめています。P8以降に、環境活動の詳細についてご紹 介させていただいています。はじめてご覧になる方は、P7ま でをご覧になっていただき、ご関心のある部分だけでも、読み 進めていただければ幸いです。



ミニストップの紹介





会社概要

本店

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-1

本部事務所

〒261-8540 千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1

資本金 / 74億91百万円

設立/1980年5月21日

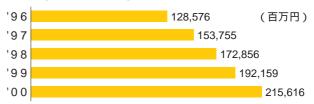
事業内容 / 主として、ミニストップの経営希望者とフラ ンチャイズ契約を締結し、加盟店に対して商品の情報、 経営ノウハウを提供するとともに、資金面の応援など を行い、その対価としてのロイヤリティを収益としてい ます。また、ミニストップ直営店において、ファーストフ ード、デイリー食品、加工食品、家庭用品、雑貨などの 小売業、および公共料金の収納代行などのサービス業 を営んでいます。

店舗数 / 1,365店舗 2001年2月末日現在)

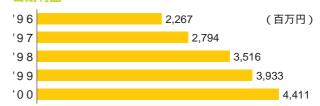
社員数 / 617名(2001年2月末日現在)

ホームページ / http://www.ministop.co.jp/

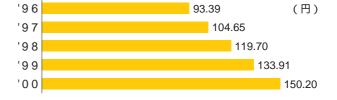
売上高(加盟店を含む)



当期利益



一株当たり当期利益



環境報告書(2001年度)について

(対象期間)この報告書は、ミニストップ株式会社の2000年度の環境保全活動に ついての報告書です。記載期間は、2000年3月1日~2001年2月28日のもので す。環境報告書の発行が2001年5月である都合上、一部2001年3月~4月分の 内容も含まれています。

(対象範囲)ミニストップ株式会社及び加盟店。一部の内容は、ミニストップ株式 会社とエリアフランチャイズ契約を結んでいる以下の会社の加盟店も含まれます。

エヌ・ビー・ジーエムエスネットワーク株式会社(青森県・岩手県)

ミニストップ近畿株式会社(大阪府・京都府・兵庫県・奈良県)

ジェイアール四国エムエスネットワーク株式会社(香川県)

株式会社ルマックス(福岡県・佐賀県)

(新たな取り組み)今年度からは、「環境報告書ガイドライン(2000年度版)」と GRI を意識し、環境問題だけではなく地域コミュニティとの連携などの社会貢 献活動についても記載しました。

GRI/Global Reporting Initiative(持続可能性報告ガイドライン)の略。企業全 体レベルの「持続可能性報告書」の作成に関して全世界で適用可能なガイドラ インを立案する目的で1997年に設立された国際的な組織です。参加者は世界 各地の企業、NGO、コンサルタント、会計士団体、事業者団体などで構成され ています。GRIのガイドラインでは「環境」「社会」「経済」の3つの側面に重点を 置いた持続可能性報告を重点に置いています。

21世紀ビジョンとしての 「チャレンジ21全社プロジェクト」

ミニストップは、ジャスコを中心としたイオングループ の一員として、「人間・地域・平和」を基本ポリシーに掲げ、 「人と地域のかかわり合い」を大切に考えています。創業 21年目を迎えての21世紀ビジョンとして、「チャレンジ 21全社プロジェクト」を編成し、戦略的な視点からの経 営革新を行っています。私たちの「使命」は大きく二つあ ると考えています。一つはコンビニエンス事業として、お 客さま一人ひとりの毎日の暮らしに「健康・安心・便利」を 提供すること。二つ目は、FCのオーナーさんである加盟 店の成長と商売の繁栄を支援することです。

ミニストップ株式会社 代表取締役社長 が描 足」







「質=クオリティ」で NO.1のチェーンストアを目指して

2003年度の目標として具体的な戦略ストーリーを展 開していきます。まずは、「店舗の質、経営の質」を高める こと=「クオリティNO.1」のコンビニを目指すことです。 海外も合わせて、国内外でこうした考え方を浸透させる ために、政策発表会やビデオなども製作し、毎日の仕事 の中で、行動を変えていくことに重点をおいています。

環境面では、わが社の場合、店舗では基本的に365日、 24時間営業のため、お客さまにとっては便利な反面、エ ネルギー消費型です。このことを認識して物流の統合に よる配送車の削減や、省エネ機器の積極的な導入を進め ています。また、騒音の問題やごみの問題など、いろんな 側面がありますので、地域と共生を図りながら、これらの 改革に努めていきます。

2001年の重点政策である「エコロユニット 工法」と「健康・安全・安心」な商品づくり

今年の重点政策としてあげているものの一つが、エコ ロユニット工法です。建設部で開発した工法で、環境とコ ストの両方を考え、エコノミーでエコロジカルなので「エ コロユニット工法」と呼んでいます。どこがエコロジカル なのかと言うと、まず、断熱パネルの利用によって冷暖房 の電気使用量が約20%削減できます。また、建物の 90%以上を工場で製作するために、建築廃材が従来の約 50%も削減できました。BOXユニットの使用によって、 他への移動も可能なので、店舗の移設も容易です。さら に、工期が大幅(約半分)に削減できることも高いポイント です。そして最大のメリットは1店舗あたりの建築コスト

イオングループの基本理念

ミニストップの環境理念

お客さまを原点に平和を追 求し、人間を尊重し、地域 社会に貢献いたします。

私たちはこの地球がいつま でも美しく平和であることを 願い、企業市民として小売業 を通じ、地域社会との共生 につとめ環境保全活動に積 極的に取組んでまいります。

環境宣言

- 1. 商品の開発、選定にあたっては環境に配慮いたします。
- 2. 廃棄物の削減、リサイクルを推進いたします。
- 3. 物流の効率化や低公害車の導入により大気汚染の防止につ とめます。
- 4. 店舗やオフィス活動では省エネルギー・省資源に取り組みます。
- 5. 緑化や植樹など自然保護活動に取り組みます。





が約20%削減できるというものです。今後はこうした工 夫により、高い生産性による質の高い店舗を全国で出店 していきます。今期は30店舗の建設を計画しております。

もう一つの重点政策は、商品開発力の強化です。定番 のおにぎり、寿司、お弁当については「健康・安全・安心」 をキーワードに農林水産省のガイドラインに沿った減農 薬米を使用しています。手間暇かけて作った分、原価は少 し高いのですが、農薬による水質汚染や土壌汚染を減ら すことができ、健康にもつながります。昨年は、オーナー さんが家族と一緒に生産農家を訪れ、稲刈り体験をしま した。生産者と販売者の顔が見える良好な関係を今後も 作っていきたいと考えています。

また、お客さまにご支持をいただいているソフトクリー ムについては、北海道の生乳を60%使用した厳選材料に こだわり、今年度の4月にリニューアルをいたしました。

これらはほんの一例ですが、こうした こだわり をもとに、 お客さまが「安心」して買い物ができるような店づくりに 努めていきます。

毎日店舗から、排出される生ごみの問題についても、 今年度スタートした「食品リサイクル法」の対応を行って います。もともとミニストップでは、生ごみの回収システ ムを20年来持ってきましたので、この回収システムを更 に進化させ、飼料化や肥料化など、きちんと資源として循 環させるように取り組んでいきます。

すべての問題について何事にむ 智恵を出し、 全力で取り組む」ことが基本ポリシーです

帯広の畜産大学で学んだせいか、都会で暮らすよりも 自然の中にいるのが大好きなものですから、環境を大切 にする気持ちは人一倍持ち合わせているつもりです。 花 を育てる、木を育てる、そんな活動をミニストップの社会 貢献に取り入れたのも、「あたりまえの自然の恵み」を大 切にする気持ちからです。私も、ふだんからできるだけ自 動車を使わない、エレベーターに乗らずに階段を使うな ど、小さなことから始めています。そして、次世代にこう した思いをどうつないでいくかが、企業としても個人とし ても大きな課題であり、私たちの使命でもあると考えて います。

この報告書は、ミニストップの2000 年度の活動と今後の環境への考え方を まとめています。当社の活動や姿勢に ついてご理解いただくとともに、今後 の活動に向けてのみなさまからのご意 見、ご助言を賜れば幸いに存じます。



上野公園の清掃活動にも積極的に参加しています。

ミニストップの環境方針

ミニストップはフランチ ャイズシステムによるコ ンビニエンスストア事業 の展開にあたり、環境の 汚染予防を図るため右記 の基本方針を定めます。

環境マネジメント システムの構築

環境ISO規格を積極 的に取りいれたマネ ジメントシステムを 構築し、循環型社会 の実現に寄与いた します。

継続的改善

事業活動を通じて生 じる環境に及ぼす影 響を自主的に評価し 環境目的・目標を設 定し、継続的改善を 図ります。

法の遵守

環境保全に関する 法規制、及びミニス トップが同意する要 求事項を遵守いた します。

全従業員の参加

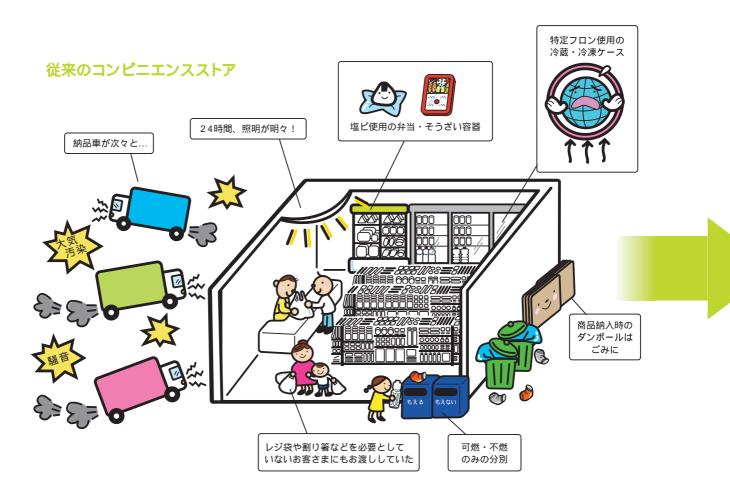
全従業員及びフラン チャイズ契約者の環 境保全・改善に対す る意識の向上を図 るため、積極的に啓 蒙活動を行います。

方針の公開

この方針は広く一般 に公開し、適切な情 報提供につとめます。

ミニストップのめざす エコロジカルなコンピニエンスストア

これまでコンビニエンスストアは、24時間営業の店舗を増やし お客さまがいつでもご利用いただけるように、便 利さの追求を中心に考えてきました。そのため、電気の消費量や配送頻度が増え、また食べ易い個食包装の商品が どんどん増えることで、ごみの種類も量も増加して、たくさんの課題が生まれました。従来は環境負荷の削減対策が 十分にできていませんでした。





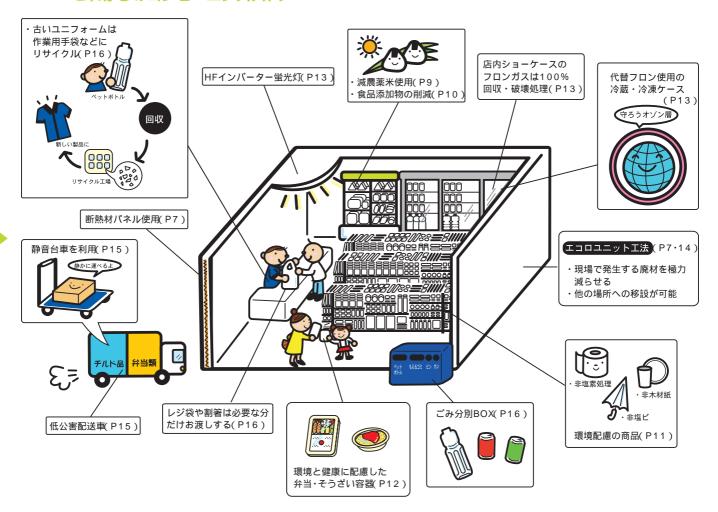
従来のコンピニエンスストアの課題

物流の効率が悪く、排気ガスが大気汚染のもとになっていました。 24時間、照明が明々とともり、エネルギーの無駄づかいとなっていました。 弁当やそうざいなどの塩ビを使用した包装の問題がありました。 特定フロンを使用した冷蔵、冷凍ケースを使用していました。 レジ袋や割り箸などの資材の使用を減らしていませんでした。 燃えるごみ、燃えないごみの分別だけしかできていませんでした。 商品を運ぶ段ボールは1回のみの使用で、無駄になっていました。



21世紀の持続可能な社会におけるコンビニエンスストアは、お客さまの便利さを維持しながら、今までの問題点 を解決していかなければなりません。ミニストップでは、従来のコンビニエンスストアの課題をできるところから改 善しています。食品の安全性を追求して、減農薬米・野菜の使用、フロンガスの回収、省エネ型のインバータ蛍光灯 への切り替え、断熱材のパネル使用を行いました。また、容器やごみ、物流の問題にも積極的に取り組んでいます。

これからのコンビニエンスストア



21世紀型のコンビニエンスストアをめざし、ミニストップが始めたこと

物流の効率化をはかり、騒音対策として静音台車を導入しました。 省エネ型の蛍光灯への切り替え、断熱材のパネル使用を始めました。 包装などでの塩ビの使用をやめ、自然素材の容器の検討も始めました。 冷蔵、冷凍ケースを代替フロンのものに切り替え、フロンの回収も始めました。 お客さまにもご協力いただき、レジ袋や割り箸などを減らす工夫をしています。 資源ごみ(びん、缶、ペットボトル)のリサイクルを推進し、資源化につなげています。 段ボールでの納品を減らし、プラスチックコンテナを採用しました。

今後は...

店舗では、エコロユニット工法(P7、P14 ページ参照)を導入していきます。

環境配慮型の商品ラインナップを増やし ていきます。

低公害車の導入も積極的に行っていきます。 他にも多くの問題にできることから取り 組み、解決につなげていきます。

2000年度環境活動の進捗状況

このページでは、当社が2000年度(2000年3月1日~2001年2月28日)に行った環境活動の中から、主なものを4つ抜粋し、その内容と考え方を簡単にご紹介します。

エコロユニット店舗の展開





「建設中のエコロユニット」

「従来工法の建築廃材」

ミニストップでは店舗そのものが環境に配慮した存在となるスタイルを模索した結果、「エコロユニット」という店舗建設の工法を採用することにしました。

「エコロユニット」とは、工場内でBOXユニットを製作し、 建設現場で組み立てる工法です。2月末に七宝下之森 店・八潮木曽根店の2店舗をエコロユニット工法で建設し ました。

「エコロユニット」が環境配慮型である理由は以下の2点です。

(REDUCE) 建物の90%以上を工場内で建設し、建設現場での工事を極力減らしました。その結果、現場で発生する廃材の約50%が削減できました。

(REUSE)店舗を解体した場合、今までは建物の大半が産業廃棄物となりました。その点、BOXユニットを使うと他の場所への移動が可能になり、再利用ができます。結果として、産業廃棄物の大幅な削減が可能になりました。

また、「エコロユニット」では外壁に断熱パネルを使い、 店舗内の断熱効果を高めることが可能になりました。その 結果、冷暖房の電気使用量が約20%削減できます。

生ごみの堆肥化実験

コンビニエンスストアでは、鮮度が高く、品質のよい商 品をいつでもお客さまにご提供することに努力してきまし



た。その結果、店舗から食品廃棄物、いわゆる生ごみが多く排出されるようになり、環境に対して大きな負荷を与えていることにつながります。その懸念から

1998年に東京都内で、生ごみの堆肥化実験を1年間実施しました。実験の結果、コンビニエンスストアから排出された生ごみでは、塩分が多いなどの理由で堆肥として使えず、一度、堆肥化を見送りました。

2000年6月には「食品リサイクル法」が制定され、 2005年には食品廃棄物を重量比20%削減することに なります。

ミニストップでは環境保全に対する社会的責任を担う必要があると考え、2000年度に生ごみを堆肥化する実験を東京23区内において再開しました。現在、堆肥化実験の検証を行っております。いかに生ごみの排出を減らすかについて、今後も実験・検証を続けていきます。

減農薬野菜の使用を開始



1997年から減農薬米を 使い始めたのと同時に、減 農薬・減化学肥料野菜を使 うことを検討してきました が、年に1回収穫する米と

違い、1年を通して産地を替えながら使う野菜を減農薬の ものに切り替えるためには、多くのハードルがありました。

現在は、いくつかの問題を解決し、まずは生野菜サラダに使われているレタスを2000年8月から減農薬・減化学肥料野菜に切り替えています。今後は、2000年度に約100t使用した減農薬・減化学肥料のレタスの使用量を増やし、継続的に減農薬・減化学肥料野菜を使ったアイテムの拡大に努めます。

花の輪運動

花と緑の農芸財団が行っている花の輪運動への協賛は10回目を迎えました。

2000年度は出店地域の 小学校2,728校から応募 をいただき、350校に花や



「贈呈後の植樹」

木の苗を寄贈しました。贈呈式の後、小学生の皆さんと 一緒に校庭で植樹を行いました。



2001年度ミニストップ環境目標

特に改善すべき環境側面は、テーマごとに問題を分析し、具体的な活動目標を設定し、行動してまいります。

取り組みテーマ A 人の安全 B 汚染物質削減 C 地球温暖化防止 D オゾン層保護 E 森林保護

F 廃棄物削減 G 教育啓蒙活動 H コミュニケーション・社会貢献

	テーマ 2000年度までの活動状況	テーマ 2001 年度の環境目標
商品	 ▲ 遺伝子組み換え食品の自主表示基準開始 見重 ▲ 食品添加物の削減(弁当・そうざい等の合成着色料) 定了 ■ 自然素材の弁当容器の実験 度了 ■ コピー用紙を非塩素系漂白に切替え 定了 ■ 文具・生活用品にて環境配慮商品の取扱い拡大(月間3アイテム) 定了 	 ▲ 遺伝子組み換え食品の自主基準の決定 ▲ 原材料・栄養成分・アレルゲンに関する情報公開 ▲ 食品添加物の削減(ファーストフードの合成着色料) ▲ 減農薬・減化学肥料野菜の使用 ⑤ 環境配慮型商品の品揃え拡大 ⑥ 環境配慮型食材・資材の採用
店舗	 こ ミニセイバーの設置店舗拡大(454 500店舗)完了 ○ HFインバーター蛍光灯の本格導入(3店実験完了)運動 □ 売場の冷凍ケースを代替フロンに切替え(100店舗で実施)完了 □ 改装・閉鎖店舗の冷凍ケースに使用されていたフロンガス100%、破壊処理(67店舗で実施)完了 「店頭にペットボトル専用回収ボックスの設置エリア拡大(多治見市)完了 「生ごみ堆肥化の実験(7店舗にて実施)完了 「廃油を回収し、多目的利用(専門業者へ委託実施)完了 	廃材マニュフェスト管理の推進 HFインパーター蛍光灯の本格導入(新規開店店舗) 消費電力の削減 ド エコロユニット店舗の出店(30店舗) 厨房内冷凍庫のフロンを代替フロンに切替え(2ヵ年計画) 生ごみの分別推進、減量化 本部からの配布資料をペーパーレス化
物流		□ □ 車輌搭載システムの実験開始 (騒音防止対策) (アイドリングストップ対策)
オフィス	■ エコロジー事務用品への切替え(240アイテム中123アイテム) 定了	○ 節電の推進⑤ ブリーン購入のシステム化(文具・消耗品)⑥ コピー用紙裏面利用の推進⑥ 社内文書の電子化
教育・啓蒙	⑤ 新入社員の環境教育実施 完了⑥ 地区事務所に環境委員の選任 完了	 環境目標を社員の業績評価と連動(9月~) 新入社員への環境教育実施 オーナートレーニング時の環境教育実施 ミニストップメイト誌上で環境問題・取り組みの紹介(年6回) 商品売場説明会での啓蒙活動(年2回)
コミュニケーション・社会貢献	 上野公園清掃活動の継続(毎月第2土曜日実施)売了 花の輪運動の贈呈先学校数拡大(前年同数贈呈)運 万里の長城、森の再生プロジェクトへの参加 完了 エコロジーミュージカル「クマゴンの森」への協賛 完了 	上野公園清掃活動の実施の継続

商品の取り組み

食品・食品容器の安全性

人も環境の一部であることから、安全性の追求は何よ りも優先すべき環境取り組みのひとつです。自然が持つ 本来のおいしさと安全性を考え、弁当やサラダなどに使 われる、レタス、トマト、キュウリなどの野菜にはできるだ け減農薬や減化学肥料で育てた素材を使用しています。

減農薬米の使用

減農薬の米や野 菜を利用すること は、それを食する 私たち人間の体の 安全性を重視し、 かつ、土壌汚染に 対する安全性を重 視することだとミ ニストップでは考 えています。



1997年から幕の内弁当などの弁当類で使われる米を 減農薬米に切り替え始め、その後、主力商品である寿司や おにぎりなどでも減農薬米を使用しています。

アレルゲン表示に関するミニストップの姿勢

ミニストップでは、商品そのものだけでなく、商品情報 をご提供することで、お客さまが安心してお買物ができる ようにしたいと考えています。昨今話題となっている、ア レルギー症状を引き起こす恐れのある食品についても、 情報を提供していきたいと考えています。

現在は法律を遵守しながらも、どんな表示方法がお客 さまにとって適切であるか模索中です。

減農薬米の使用実績(玄米ベース)

生産年度	1997年	1998年	1999年	2000年
使用実績(トン)	2,000	4,000	6,000	8,000

2001年度生産については8,500トンを目標にしています。

ミニストップの減農薬米管理基準

- 1)産地・生産者・栽培方法を指定し、農林水産省が定めたガイドライン(注) に沿った生産を行うこと(注)=「特別栽培農産物に関するガイドライン」 茨城県・山形県などの農協と一体となって減農薬米の生産に取り組んで います。
- 2)農薬散布回数を慣行栽培の概ね2分の1以下に抑えること
- 3 残留農薬検査を自主的に行うこと (カドミウムの場合)厚生労働省基準1.0PPMに対し、0.4PPM未満に するよう指導しています。
- 4 全国農業協同組合など生産者以外の第三者機関の認定書を取得すること

稲刈リツアー





ミニストップは次世代を担う子供たちへの環境教育に も力を注いでいます。2000年度から、加盟店の子供た

ちへの環境教育の一環として本部でエコツアーを企画し ました。加盟店のオーナーさんとそのお子さん19組38 名は、9月16・17日に山形県へ向かい、生産者の方と意 見交換をし、減農薬米の稲刈りや自然に関する伝統工芸 (草木染め)の体験学習をしました。

子供たちへの自然を慈しむ心を養う環境教育の実践の 場として、また、減農薬米の生産者を支援する一環として 今後も続けていく予定です。2001年は「田植えツアー」 を行います。

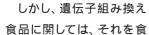
減農薬栽培農産物って? 同じ時期にできる同じ作物に対し、 農薬を一般的に使用されている量の約5割以下しか使用してい ない農産物のことを言います。農薬による土壌汚染や水質汚染 を減らすだけでなく、食品の安全性も高まります。

エコツアーとは... 自然を単に観察するだけでなく、体験しなが らその仕組みを感覚で学んだり、生き物や自然環境を保護する 活動に参加するツアーのこと。自然や動物に目を向け、地球にや さしい気持ちをもって接する、そんな自然や地球と仲良くなるた めの体験旅行のことです。



遺伝子組み換え食品への対応

近い未来に発生すると懸 念されている食糧危機の打 開策として、遺伝子組み換 え食品の開発が世界中で盛 んです。





する人体への安全性、栽培を行う環境への影響について明 らかな結果が出ていません。そのため、遺伝子組み換え食 品に対するお客さまの不安を拭うことができないのが現状 です。

ミニストップでは、改正JAS法を遵守して遺伝子組み 換え食品、もしくは遺伝子組み換えがきちんと分別され ていない農産物を使った場合、商品に表示を行います。 今後は、価格や使用の有無の情報を把握し、非遺伝子組 み換え食品を積極的に使っていくことも考えています。

食品添加物(合成着色料)の削減



1997年以来、食品添加 物、なかでも特に合成着色 料の削減に努めてきました。

2000年度には、全国の 弁当全般・サンドイッチ・ そうざい・麺類・漬物の約 550アイテム(注)すべて

合成着色料をやめ、天然着色料に切り替えました。

今後はさらに社内のチェック体制を強化し、安心して お求めいただける商品の提供に努めていきます。 (注)時期によって総アイテム数が異なります。

製造工場の手袋を非塩ビ製に

2000年6月、内分泌かく乱物質(環境ホルモン)のひ とつである「フタル酸エステル類」が市販の弁当から検出 されたことを受けて、厚生省(現在の厚生労働省)は調理 用塩ビ製手袋の使用を禁止する方針を打ち出しました。

盛り付けなどの調 理用に使用してい た塩ビ製の手袋に アルコールを吹き 付けたり、高温の 油(物)を触ったり することで、フタル 酸エステル類の溶 出が進んだことが 原因と断定されま した。

ミニストップで は、1999年11月 から塩ビ製の手袋 に替わる素材の手 袋に切り替え始め、





2000年6月中旬には、ミニストップの弁当などを製造し ている全国すべてのお取引先、約120社にご協力いただ き、塩ビ製手袋から天然ゴムや合成ゴムなどを素材とす る手袋に切り替えました。

遺伝子組み換え食品って? 人工的に遺伝子を組み換えた食品。 もともとある農作物の遺伝子にバクテリアなどを組み込むことに より作ったもので、除草剤や害虫などに強い農作物などがあります。 決して自然界では起こりえないものであることから、生態系への影 響も懸念されていて、人体への安全性も明らかになっていません。

合成着色料(添加物)って? 農・畜・水産物などを原料にした加 工食品に、人工的に添加された物質を食品添加物と言います。 合成着色料は、加工食品に色を付けるため化学合成されたもの で食品添加物の一種です。食品添加物には、発ガン性を報告した 研究もあります。

環境配慮型商品群

グリーン商品の品揃え

ミニストップの環境宣言のなかには「商品の開発・選定 にあたっては環境に配慮します」という項目があります。 ここでは、お客さまが商品を使われた時のみならず、廃棄 された後の環境への影響について特に配慮しています。

ところが売場でのグリーン商品の情報発信が不足して

いるために、例えば家庭用のラップの場合、まだ塩ビ製品 を購入される方のほうが多いのが現実です。

今後ミニストップでは、グリーン商品の品揃えと並行し て環境保全商品に関する情報の発信を行うことにより、お 客さまと一緒にグリーン購入を進めて行きます。

履歴書・封筒・ボール ペンに再生紙や再生 プラスチックを使用





品質はそのままで再 生紙40%以上使用

紙コップ・紙皿には非 木材紙ケナフを使用





素材は塩ビではなく EVA(エチレン酢酸 ビニールアセテート) を使用

プラスチックから紙製へ フローズンヨーゲルト

2000年11月からミニストップオリジナルのフローズン ヨーグルトの容器を、プラスチックから紙容器へ変更しま した。紙容器にすることで、ダイオキシンの発生の抑制が でき、環境負荷を削減することが可能になります。



グリーン調達とは... 他社から原料や資材を購入するときに、環 境負荷のより小さいものを優先的に購入することです。円滑に実 施するためには、お取引先の協力などが不可欠です。自社だけで なくお取引先にも環境に配慮してもらうことで、エコロジーの輪 を広げていくのがグリーン調達です。

グリーン購入とは... 特に、オフィス用品や社員が使用する商品 やサービスを購入するときに、価格や品質、デザインだけで選ば ずに、必要性を十分に考慮し、環境負荷ができるだけ小さなもの を優先して購入することです。2001年4月にはグリーン購入法 が施行されました。



自然素材の弁当容器へのチャレンジ



「洋風ミックス弁当」

弁当などに使われ ている容器には主に プラスチックを素材 としたものを使って います。

これらの容器は燃 やしても特に有毒な ガスなどを発生させ

ることはありませんが、より環境に配慮した素材を使うこ とを考慮して、プラスチックから紙への切り替えにチャレ ンジしました。

2000年3月に多年草の一種である「葦(あし)」を使っ た紙製の容器を利用した弁当を発売しましたが、大きな 問題が発生しました。容器にご飯がくっついてしまい、食 べにくいというご指摘をお客さまからいただきました。 そこで、ご飯部分を油分の多いピラフに切り替えたりして みましたが、残念ながらご飯がついてしまう問題はクリア されませんでした。

しかし、環境に配慮した素材の容器を使うことをあきら めたわけではありません。2001年2月から、埼玉西部地 区及び東京多摩地区で、葦を使用した容器を使ったグラタ

ンを発売しています。

ミニストップでは、 2001年度も環境に 配慮し、かつお客さ まがご利用しやすい 容器の開発に努めて いきます。



「こんがリポテトグラタン」

今後の環境に配慮した包材への切り替え

ミニストップでは、今後も引き続きファーストフードや 弁当・そうざいなどの容器包装に、環境に配慮した素材を 使っていく方針です。





プラスチックと紙って? 塩ビには塩素が含まれているため、不 完全燃焼したときにダイオキシンなどの有毒ガスが発生します。 また、土に埋めても分解しません。プラスチックと紙を比較した 場合のリサイクル性を考えると紙の方が優位です。

塩ピはよくないの? 塩ビとは塩化ビニールの略で、プラスチック の主な原材料のひとつです。食品トレイやフィルム、業務用ラップ など様々なビニール製品に使用されています。塩化ビニール製品 は低温で燃焼すると、猛毒のダイオキシンなどを発生させます。こ のため、塩化ビニール製品をなくそうという運動が起こっています。

店舗の取り組み

電圧調整装置の設置店拡大

CO2削減対策の一環として、電気法・各電力会社に従 った電圧調整装置(ミニセーバー)を店舗に設置してきま した。

ミニセーバーは、従量電灯の電圧を96Vになるように コントロールし、消費電力のムダを省く機器です。

通常の従量電灯の電圧は、送電中のロスを見込んで 100Vより数%高めに送られています。しかし、店舗内で 使用する照明機器は、電圧を96Vまで下げても見た目に はほとんどわかりません。ただし、もともと従量電灯の電 圧が低く、消費電力やCO2の削減効果があまり見込めな い地域はミニセーバーは設置していません。

削減項目	1店舗あたり	総設置店削減効果
削減電気量	9,386Kwh	4,693,000Kwh
削減電気料金	221,978円	110,989,000円
CO2削減効果	922Kg	461,000Kg
CO2削減量をガソリン消費量に換算	1,440L	720,000L

(試算条件) 2001年2月末現在ミニセーバー設置店舗は500店舗 CO2削減量は消費電力に対して、炭素換算重量0.096Kg-C/Kwhを基 ミニセーバー消費量換算はCO2削減量に対し、ガソリン車炭 素排出量0.64Kg-C/Lを基準に試算 削減金額は1Kwhあたり23.65 円で計算し、消費税を含んだ金額。基本料金は含まれていない

HFインバーター蛍光灯の本格的導入



コンビニエンスストアは 基本的に24時間営業のた め、店舗内の照明によって 消費される電力は他業種よ り多くなりがちです。

2000年度、3店舗で実

験を繰り返した結果、2001年4月に開店する店舗から順 次HFインバーター蛍光灯を導入することにしました。HF インバーターを導入することにより、消費電力は従来型蛍

フロンガスと代替フロン フロンガスは、主にエアコンや冷蔵庫 などの冷却媒体として使用されてきましたが、オゾン層を破壊す る物質で、また、温室効果ガスの一つでもあることから、1995 年末以降先進国で使用禁止となっています。このようなことから、 フロンガスに替わる物質として、代替フロンが開発されましたが、 安全であるとは言い切れないのが現状です。

光灯よりも138.215Kwh、約19.1%削減でき、しかも 照度は落ちません。また、環境に配慮しながら年間の電気 料金を約19%(約11万円)削減できる理想的な機器です。

特定フロンから代替フロンに切り替え

CO2やメタン、フロンなどは太陽から放たれる熱を地 球に封じ込める働きがあり、「温室効果ガス」と呼ばれます。 これらの物質は、人間の活動が活発になるにつれて大量 に大気に放出されていて、その結果、地球全体の平均気温 が上昇し続けています。砂漠化や氷河が溶けて起こる海 面上昇や様々な自然災害が発生すると予測されています。

ミニストップでは、2000年度は売場のアイスクリーム用 冷凍庫(リーチイン)で使われていた特定フロン(R-502) を代替フロン(R-22)へ全店切り替えました。2001年度 は、厨房内にある冷凍庫のフロンをR-404Aへ切替え、2 年計画で350店舗行う予定です。その後もR-502の全廃 に向けて計画的に進めていく予定です。

フロン回収・破壊処理

冷凍ケースには、冷媒としてフロンを使っているため にミニストップでは専門業者に、不要な冷凍ケースのフロ ンの回収・破壊処理を委託し、破壊されたフロンから生じ る産業廃棄物にも適切な処理を行っています。2000年 10~12月にかけては、店舗で回収したフロンが適正な 処理を実施されているか監査を行いました。このように フロンの回収・破壊処理まで、きちんと見届けています。





「フロン回収の監査」

HFインパーター 高周波点灯蛍光ランプ(HF)を使用したHFイ ンバーター方式蛍光灯は、通常のインバーター方式と比較して、 明るさ感を増しながら省エネを実現。さらに、一般蛍光ランプに 比べて体積は約2/3なので、産廃コストも削減できます。ただし、 現在は高周波点灯蛍光ランプ(HF)が通常のインバーター方式 用と比べると、かなり高価なものとなっています。



エコロユニットショップの紹介

エコロユニット工法のお店をご紹介

埼玉県八潮市にある八潮木曽根店は、ミニストップが本 年度の重点活動として実施している「エコロユニット工法」 導入の第2号店です。オーナー、篠宮 務さんにお話を伺い ました。(ちなみに、エコロユニット工法の1号店は、愛知県 海部郡七宝町にあります。)





「営業中の店内」

「建設中のエコロユニット」

エコロユニット工法についての オーナーインタビュー

Q1.エコロユニット工法の導入の経緯について

昨年、現店舗の物件の案内があったのですが、立地的 に有望と判断して、出店を決意しました。その時に本部 より、今回のエコロユニット工法の提案があり、多くのメ リットがあることから導入を決定しました。いくつかのメ リットをお話ししますと、工期が約30日ですから、従来 の半分も短くなって、初期の投資が低くてすみました。 また、電気代などのランニングコストは、計画ではこれ から20%ぐらいは下げたいと考えています。今後10年 以内には、ここは区画整理の計画があるので、店舗の位 置を移動させなければならないかもしれません。でも、 その時点での移設も、これなら心配ありません。

Q2.現在までの状況について

私自身、八潮木曽根店が3店目になりますが、他店と比 較して、開店までの工期も計画通りに短縮でき、投資も低 減できました。店舗自体も通路幅や作業導線がゆったり取 ってあり、お客さまや従業員が動きやすくかなり好評です。

Q3 .今後のビジョンとして

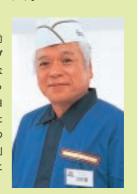
現在、1号店(草加市)の開店以来約7年になりますが、 2号店(大宮市)と今回の3号店(八潮木曽根店)とも、どの 店舗も市場競合が激化するなか、順調に推移しています。 今後、さらに2店舗程出店したいと計画していますが、こ のエコロユニット工法での出店を考えたいと思います。 現在の店舗の改善もはかりながら、将来的には、より効率 的で環境配慮型の店舗モデルとして、出店比率を上げて いくことができればいいですね。

Q4.エコロユニット工法の評価と今後の課題について

エコロユニット工法については、工期と初期投資につ いてのメリットは評価できますが、ランニングコストにつ いては、まだ開店2カ月ですから、今後夏季の冷房稼動時 の効果測定を検証しないと判断はできません。今秋頃に は、総合的な評価が出てくると思います。

篠宮オーナーのプロフィール

52歳 趣味カラオケ・社交ダンス。以前 はタイル工事の工務店経営。ミニストップ を始めた経緯はバブル崩壊後、受注が少な くなり、その頃昼食を買うために立ち寄っ ていたコンビニエンスストアに注目。ご自 宅のすぐ裏にセブンイレブンさん(酒・た ばこ有り店)があり、最初から酒・たばこの 販売免許は取れないと思い、他店との差別 化商品であるファーストフードのあるミニ ストップでの出店を決めたとのことです。

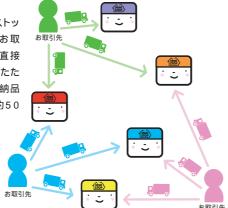


冷暖房の設定温度について エアコン(冷房)の設定を25 ~ 28 にして、3 温度を高くすると、1家庭あたりで年間約2リッ トルの石油が節約でき、CO2発生量も減少させることができま す。地球環境を守るためには、冷房は28、暖房は19~20 に設定するのがベストです。

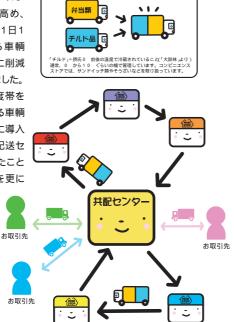
建築廃棄物の問題点 現在、産業廃棄物の年間排出量は、約4億 トンにもなります。種類別にみると、汚泥、動物のふん尿、建設廃 材が全体の約8割を占めています。業種別にみると、建設業、農 業、電気・ガス・熱供給・水道業がそれぞれ20%弱を占めていま す。産業廃棄物のうち、約8000万トンが埋め立てによる最終処 分に回されていますが、すでに残余年数も限られてきています。

物流の取り組み

創業当初、ミニストッ プの各店舗に各お取 引先の配送車が直接 商品を供給していたた め、1日1店舗に納品 する車輌台数は約50 台もありました。



共同配送センターによ り、配送効率を高め、 2000年度では1日1 店舗に納入する車輌 台数を約10台に削減 することができました。 1台に2つの温度帯を 保つことができる車輌 を全出店エリアに導入 し、常温商品の配送セ ンターも稼働したこと から、配送距離を更に 削減しています。



共同配送センターの拡大

物流の効率化を図る手段のひとつに、共同配送センター を作り、走行距離を短縮する方法があります。2000年6月 に愛知県豊川市に弁当などを配送する共同配送センター を稼働させました。

配送距離の削減

排気ガスを減らす活動のひとつとして、1998年3月か ら低公害車の導入を始め、2001年2月末には計6台の低 公害車を店舗への配送用に導入しました。地球環境を配 慮して、より多くのCNG(圧縮天然ガス)車を導入したい と考えていますが、 ガソリンよりも燃費がよくないこと (ディーゼル車 5.4Km/Lのところ、CNG車は 4.8Km/Lであること)や 天然ガス用の補充所数に限り があること。燃費が悪い上に、アクセスできる配送車輌 が限られること、などで車輌導入が進んでおりません。

だんだん増えていく天然ガスの補充所の整備に合わせ、 できる限り、CNG車の導入を促進しようと考えています。

静音台車に切り替え

商品・資材などの納品は、ご来店いただくお客さまへご 迷惑をおかけしないために一部夜中に行います。

納品時に使われる台車の音で、お客さまや店舗のご近 隣の方々へご迷惑をおかけすることがありました。

台車を動かす際に発生する音でご迷惑をおかけしない ために、2000年5月頃から従来の台車から音の静かな 台車に切り替え始め、8月末には全国すべての共同配送 センターで切り替えが完了しました。

配送車輌の燃料として廃油使用の実験

2000年はじめに、廃油をエステル化燃料として再生 された車輌燃料があることを知り、実験の検討を始めま した。しかし、 給油所が都内に一カ所しかないこと、 現在の配送車輌は軽油を使用することを前提に設計され ていて、廃油再生燃料を使うことで、エンジントラブルが 発生した場合、車輌の修理保証がきかない恐れがあるな どの理由で、実験を見送りました。

低公害車の導入 地球温暖化や大気汚染の原因のひとつに自動 車の排気ガスがあります。天然ガス車は ディーゼル車に比べ、 CO2の排出量が2~3割も少なく、その他窒素酸化物や煤煙も大 幅に低減されている、環境にやさしい低公害車です。他にも電気 自動車やハイブリッドカー、LPガス車などの低公害車があります。



廃棄物削減の取り組み

ミニストップの4Rとは...

ミニストップでは限りある資源を有効に使い切るための4 つの方法を、 Reduce(リデュース):削減する、 Reuse (リユース): 再使用する、 Recycle(リサイクル): 再利用 する、 Reasonable Treatment(リーズナブルトリート メント): 適正処理、の頭文字をとって4Rと呼んでいます。

割り箸の使用削減





1999年7月より、弁当などを購入されたお客さまにお 声をおかけして、割り箸・スプーンなどが必要な方だけに 手渡しするようになりました。

これにより、年間で約1,552万膳の割り箸の使用を控 えることができました。これは原材料を白樺の木と仮定 した場合、樹木に換算すると約366本分に相当します。

(参考)

高さ15m太さ30cmの白樺の木から約42,400膳の箸が作れます。

再生PET製品を使ったユニフォームへの切り替え



2000年6月に「循環型 社会基本法」が制定され、大 量廃棄型社会から循環型社 会へ、行政施策として進め られることになりました。 繊維リサイクルに関する法 規制はまだありませんが、

ミニストップでは2000年9月~10月に、従業員が着るユ ニフォームをリサイクルを重視したものに切り替えました。 ユニフォームのリサイクルにおいて重視した点は、 ユ ニフォーム自体がマテリアル・リサイクルされたものであ ること(排出されたPETボトルから再生された繊維、すな わち再生ポリエステル繊維を使ったユニフォーム) ケ ミカル・リサイクルされていること。汚れやほつれで使え なくなったユニフォームは、リサイクル業者に収集され、 作業用手袋や自動車用シート内の詰め綿などに再利用さ れています。

- ・財団法人 日本環境協会が定めた「エコマーク商品類型 NO.103 再生 PET樹脂を使用した衣服」の基準に準じています。
- ・ユニフォーム1着あたりには500mlのPETボトル約6本が使われています。

廃油のリサイクル

安全でおいしい商品をお 客さまへご提供するため に、ミニストップでは使って いる油を自社で定めた基準 の酸化度に達した時に交換 しています。例えば、東海 地区では、店舗から出た廃



「廃油再生処理工場」

油は飼料や工業用油にリサイクルしています。

2001年2月末現在で、一カ月あたり約50tの廃油がリ サイクルされています。

ペットボトル専用回収BOXの設置エリアの拡大

現在、びん・缶・ペットボト ルなどの資源ごみのリサイ クルを地域の自治体と協力 して推進しています。ペット ボトルについては、2001 年現在、東京23区や名古



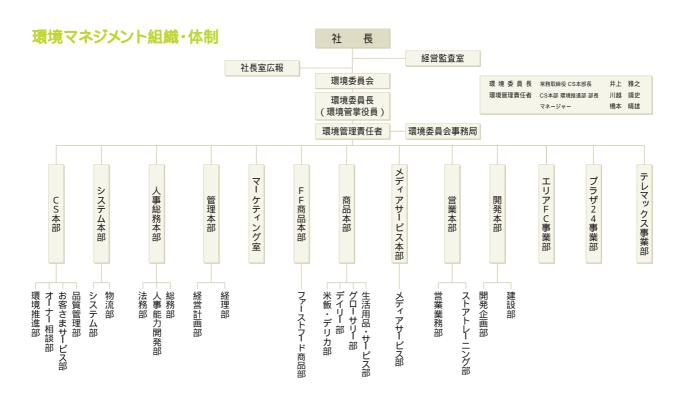
屋市、大宮市、多治見市で、分別回収を行っています。今後 も、資源ごみの回収の仕組みを整えてさらに他の自治体と も協力して再資源化に努めていきます。

食品リサイクル ごみの最終処分場の残余年数が減るなか、膨れ 上がる食品廃棄物の再生利用を促進するとともに、他方ではその 発生の抑制を狙った、2001年6月から食品リサイクル法(食品循 環資源再生利用促進法)が施行されます。ミニストップでは生ごみ の堆肥化実験や廃油を回収し家畜飼料の原料にしてもらうなど、 リサイクルに積極的に取り組んでいます。

環境マネジメントシステムについて

環境マネジメントシステム





事務所のグリーン購入について

以前は、各地事務所で事務用品をおのおの購入してい たのですが、事務商品のグリーン購入を開始するにあた り、登録アイテムを設定してweb発注式に切り替え始めま した。現在は、2ヵ所の事務所を対象に実施していますが、 今後は、全事務所でのグリーン購入の実施と共に、環境 配慮品の利用の拡大をはかります。

店舗における配布用紙の削減化

毎週発売される新商品の情報などは店舗にとって非常 に重要な情報です。

今まで、本部から各店舗に向けて様々な情報を提供す るためにカラー印刷した紙を配布していました。

2000年度から店舗のコンピュータで新商品の画像が 閲覧できる新しいシステムに順次切り替えており、2001 年度中に全店舗に導入します。



教育・啓蒙活動

商品・売場説明会での環境啓発・啓蒙

商品が入れ替わる 春と秋の年2回、加 盟店を対象にした 商品売場説明会を 開いています。新し い商品を試食し、見 どころを知ってもら い、新商品の魅力を 伝えながら提供で きるよう、サポート するものです。



優良店舗の事例をパネルとビデオを使って紹介し、よ りよいサービスの提供に役立つ情報を伝えています。標 準的な店舗での効果的な陳列方法や季節限定商品の配置 などを実際に見ていただきながら配慮するポイントを説 明し、毎日の営業に活用しています。

会場に環境ブースを設置し、各店舗の募金活動からの資



金による花の輪運 動などの活動報告 や店舗から排出され るごみの問題、また、 省エネ対策などの 状況を報告、案内し、 チェーン全体での取 り組みを推進してい ます。

循環型経済基本法 が施行される今年

は、分別方法が変わった新しいごみ箱を使って廃棄物の 扱い方の違いも理解しました。

ミニストップメイトの配布

各店舗と社内へ配布する隔月刊誌ミニストップメイトで は、2000年度より毎号連載で環境問題・社会貢献活動の ページを設け、ミニストップ内での環境への取り組み内容 の紹介、意識向上のための情報提供を行っています。



新入社員教育でも重点的に





環境問題への対応は、社員一人ひとりの日々の業務にお ける、環境配慮の行動がポイントになってきます。そのため、 新入社員の集合教育では、環境理念や方針の説明ととも に、「できることから一つずつ、皆さん一人ひとりの行動の 積み重ねが不可欠」というところに重点を置いています。

また、「店舗でお客さまと一緒にできる環境への取り組 み」というテーマでグループディスカッションでプランを 検討し、地域との共生という理念に対する理解を深めて います。

従業員教育としてハンドブックを配布

新入社員以外においては、環境 報告書の説明を実施するとともに、 全従業員にハンドブックを配布し ました。しかしながら、環境理念や 方針の全従業員への浸透度はまだ まだ高いレベルとは言えず、今後、 継続的に取り組んでいかなければ ならない課題と考えています。



社会とのコミュニケーション活動

同じ地球号の乗組員として、 地域にも貢献していきます。

ミニストップは、地域とのつながり、社会とのつながり を大切に、できる活動から始め、小さな貢献を積み重ね ていきたいと考えています。

花の輪運動



「贈呈校の抽選」

1991年以来協賛を続け ている財団法人 花と緑の 農芸財団へ、2000年度も 加盟店の募金を通じて協賛 しました。主に行っている 活動は、小学校に花や木の 苗を寄贈する花の輪運動で

す。これは、お客さまがレジ店頭にある募金箱に募金して くださったお金を主原資として、花や木の苗を購入し、寄 贈をご希望される小学校にお渡しする運動です。

2000年度は約930万円の募金をいただき、抽選で決 まった全国350校の小学校へ花や木の苗を寄贈しました。

お客さまからいただいた募金の流れ

お客さまがレジにある募金箱にお金を募金

店舗で募金をとりまとめて、決まった口座に入金

ミニストップ緑の環境推進クラブから農芸財団へ寄付

農芸財団が花や木の苗を購入・希望された小学校へ寄贈する

花の輪運動贈呈式の様子

2000年11月、寄贈校のひとつである福島県伊達郡川 俣町の町立富田小学校では、小雨の降る中で植樹が行わ



福島民友新聞 2000年11月29日 .

れました。冷たい雨にも負 けず、富田小学校のみなさ んやミニストップ福島川俣 店の菅野オーナー、財団法 人 花と緑の農芸財団のみ なさんが協力し合ってシャ

ベルで穴を掘り、ハクモクレンの苗木を植えました。 こ の模様は、地元のTVや新聞でも紹介され、子供たちへの 環境教育が大切であることや地域の方々の強い関心事に なったことを改めて痛感しました。ミニストップでは、花 の輪運動を今後も引き続き実施していきます。

エコロジーミュージカルへの協賛の継続



「クマゴンの森」

「劇団ふるさときゃらば ん」がイオングループ1%ク ラブと共同で開催している 地域住民参加型エコロジー ミュージカルに、ミニスト ップも1998年度当初から 毎回協替しています。

2000年度、ミニストップでは木更津市、京都市におけ る公演に協賛しました。このミュージカルは次世代を担う 子供たちに自然の大切さを実感し合うことを目的とし、開 催地に住んでいる小学生50名が「ふるさときゃらばん」の 劇団員の方と一緒に稽古を経てステージに臨みました。

協賛にあたっては、ミュージカル開催費用の寄付以外 に大道具や受付、会場の整理などのお手伝いも行い、子 供たちや「ふるさときゃらばん」の方々と同じ視点での参 加をしました。

木更津では「クマゴンの森」、京都では「瓶ヶ森の河童 (かめがもりのしばてん)」を公演しました。ご好評につき、 「瓶ヶ森の河童」は2001年度も引き続き公演されます。

上野公園清掃活動

毎月第2土曜日に社員と お取引先の有志が集まっ て、上野公園一帯の清掃活 動を行っています。この清 掃は、イオングループ全体 で社会貢献活動・環境保全



活動の気運が高まった1992年10月から開始し、2000 年6月には100回を迎えました。

2000年度はのべ359人が参加し、10,800リットル (75リットルの袋で180袋)のごみを回収しました。



インターネットでの情報公開

ミニストップでは創業当初から、少しずつですが、環境 保全活動を行ってきました。より多くの皆さまに知ってい ただくため、2000年5月にホームページ上でも環境情報 を公開し始めました。インターネット人口が2000万人 (2000年6月現在)を越えた現在、webサイトからの情 報発信は必要不可欠だと考えています。



ミニストップ環境サイト(毎月更新)http://www.ministop.co.jp/kan.html 出典「インターネット白書2000」インプレス社

地域コミュニケーション



ミニストップでは防災対 策も、リスクマネジメント として大きな意味で、環境 問題対策にあてはまると考 えています。

コンビニエンスストアは、

「ヘリコプターを使った防災訓練」 阪神淡路大震災のときに、

生活物資の補給所のようになり、地域の生活者に必要不 可欠な存在として認識されました。

ミニストップは、その教訓をいかしてヘリコプターの優 先契約を結び、ヘリコプターを使った防災訓練を行って います。

また、時期によって防災グッズを店舗で販売するなど、 緊急時の対策に力を入れています。

イオングループ「1(ワン)%クラブ」について

イオングループ「1(ワン)%クラブ」とは、イオングルー プの主な企業各社の税引き前利益の1%を「環境保全」 「国際的な文化・人材交流」「地域の文化・社会の振興」 の3分野に関わる事業展開に充て、積極的な社会貢献 活動を推進する団体です。

万里の長城、森の再生プロジェクト





万里の長城付近は数百年にもわたる伐採の結果、森 林が消滅してしまいました。

国際生態学会 会長の宮脇昭先生を中心に1996年 から慎重に準備を行い、財団法人 イオングループ環境財 団と中国北京市人民政府が共催で「万里の長城・森の再 生プロジェクト」を3カ年計画で実施しました。3年間で 7.400人が参加し、3年間で30haの植樹を行いました。

「こどもエコクラブ」関連の事業に協賛



イオングループ1(ワン) %クラブでは、1993年 から実施している「国際こ ども絵画交流展」を2000 年度も引き続き実施しま

した。この絵画交流展では、日本とアジアの子供たち の環境保全への意識向上と国際交流、ならびに連携を 図るために行われ続けています。

ミニストップでは明日を担う子供たちへの環境教育 を重視し、この絵画交流展に協賛しました。

2000年度は、日本を含めたアジア12カ国の子供た ちが描いた430点の絵画を6月~11月までイオング ループ店舗8店舗で展示し、同時に、タイやカンボジア などの7カ国においても絵画の展示を行いました。

みなさまからのメッセージ

昨年の環境報告書をご覧いただいた方や、エコロジーミュージカルに参加されたお客さま、 環境の専門家の方々よりアドバイスをいただきました。



樋口 万希子様 東京都 大学生

私は大学のゼミの研究室で、企業の環境 問題への取り組みについて環境報告書をも とに調査しています。その中で、多くのコ ンビニエンスストアが自社の環境影響につ

いて、図や表を用い、わかりやすく説明していました。しかし、自社 の問題点や日頃の危機対策については、現状では、充分に記載され ていませんでした。

消費者が知りたい情報というのは、「ミニストップで扱われている 商品が、人間や自然に対して本当に安全なのか」ということです。具 体的な数値による目標と実際の活動状況についての情報が十分では ないと感じられます。『ミニストップ=環境配慮対策実施モデル企業』 といったインパクトのある活動状況をもっとアピールしていったらよ いのではないでしょうか。



荒木田 岳様 福島県 大学助教授

我が家の一番近くのコンビニが「ミニス トップ」ということもあり、結果的に、よく足 を運びます。ミニストップには、いつも様々 なモノがそろっていて、他品種少量在庫と

いうのか、無駄が少なく、必要な量を見越して在庫をそろえていると いう印象を受けます。在庫を抱えないことは、金銭的なコストの面か らも、環境コストの面からも重要なことだと思います。(食品を腐らせ てしまうなどといった「無駄」はない方がいいに決まっています。)しか し、他方で物品納入のためと思われるコンビニのロゴ入りトラックは、 この10年間で飛躍的に増えてきています。こちらの環境コストはど うなっているのでしょうか。時間に追われているためか、黒煙を吐き ながら「暴走」しているクルマをよく見かけます。在庫を増やさず、交 通公害を進行させず、かつ食品添加物などに依存しない流通という コンビニは現在、このよう ものはどのようにすれば可能なのか? な環境問題の「難問」に直面しているように思います。この「難問」をど のように処理・解決するのか、その様子に今後注目したいと思います。



保坂 光一郎様 千葉県

娘の尚さんがエコロジーミュージカルに出演

ジャスコの店でエコロジーミュージカル の案内を見て、子供が「やってみたい」と言 ったので応募しました。短い期間での練習

だったため、即席的なミュージカルだと思っていましたが、このミュ ージカルは、近代的な空港そして自然が残っている現在の成田の地 域に合った企画だと思いました。一住民として環境問題を勉強して いき、自然と共存していきたいです。



白澤 喜美子様

娘の美帆さんがエコロジーミュージカルに参加 子供が歌や踊りが好きだったので、子供 自身が自ら進んで応募しました。私自身は、 山が好きなことと「環境」がテーマのミュー

ジカルということで好感が持てたので、子供には演じるだけでなく ぜひミュージカルを見せたいと思っていました。



鈴木 エツ子様 千世世

娘の望美さんがエコロジーミュージカルに出演 イオングループの機関誌「MOM」でエコ ロジーミュージカルの参加者募集のことを 知り、子供が「やってみたい」と言ったので

応募してみました。ミュージカルを観終わって、心に伝わってくるす ばらしいテーマでした。観ていた子供たちには、少し難しいところ もあったと思いますが、なんとなく環境問題・自然保護などについて 伝わったと思います。



飯田 美樹様

全国環境学生連盟エコリーグ2000年度 8月ギャザリング実行委員長/全国副代表 今回ミニストップさんの環境への取り組み を初めて知り、これほど取り組んでいたこ とに驚いたというのが正直な感想です。コ

ンビニエンスストアといえば、環境負荷が高いという先入観があっ たのですが、あらゆる方面からの取り組みをしていたのですね。特 に食べ物の安全性の配慮については、最も利用することが多い商品 だけにありがたい取り組みですね。

環境報告書の内容ついては、実際の活動情報の伝え方に工夫がい るかも知れません。例えば、消費電力の削減についてば どの機械に よって 消滅したのかではなぐ どのくらい 消滅したかがわかる方が 大事だと思います。機械の写真があることでかえって伝えたいこと がぼやけてしまうような印象を受けました。実際の効果をイラスト やグラフを活用することによって一目見ただけでわかるようにして

環境報告書に寄せて



向井 征二 オービス環境マネジメント研究所 代表

環境省登録環境カウンセラー(事業者部門) 環境市民東海・代表幹事

内外の環境報告書を数多く事例研究して、さまざまなタイプの環境報告 書を読んでいる私にとっても、ミニストップの2001年度版環境報告書に は新鮮な驚きを覚えた。今号では徹底して、お客さんや学生を第1の読者 に想定した構成や表現で、ともすれば対象読者があいまいになりがちな 日本企業の環境報告書に見られなかったユニークなページ展開になって いて、たいへん面白い。GRIの国際的なガイドラインを意識して、企業の 社会的使命にも目配りした編集方針も、評価したい点のひとつである。

本来ならページのトップに掲げる経営基本理念、環境理念、環境宣言、 環境方針などをページ下部に小さく収容し、見開きで社長の談話を掲載 するという大胆な手法は、企業トップが率先垂範するのが常識の外国企 業の環境報告書では見かけるが、日本企業ではきわめて異例であり、注 目に値する。

店舗での取り組みのページで、会社からの情報提供だけでなく、実際 のオーナーの実感のこもった肉声が掲載されているほか、一般のお客さ んからのメッセージコーナーも興味深い。各ページの下部に囲み記事で 用語解説を入れてあるのも、読者である一般消費者への配慮として適切 である。見開きのイラストで展開している「従来のCVS」と「これからの CVS」も、説得力がある。全国に35,000店舗以上と、日本の社会シス テムに完全に定着したコンビニエンスストアだが、ミニストップがめざす エコロジカルなコンビニエンスストア(CVS)像が業界のベンチマーク (お手本)になれば、日本全体の環境負荷低減にも大きく貢献するのでは ないか。いくつか、次号での改善を要望しておきたい。

前年の環境活動の進捗状況では主な活動を4つだけ紹介しているが、 初号のように、前年の環境目標とその実績、さらに新年度の環境目標を 一覧で報告し、その中の幾つかの実績を例示するほうが継続的改善ぶり をアピールするには良いと思うが、いかがなものか。

第2号では、環境省のガイドラインに準拠した環境会計の試算が紹介 されている。経済効果の算定は各社悩むところだが、樹木換算で366本 に達するという割り箸節約など、ミニストップならではのきめこまかな環 境活動の実績も、業界に先駆けて独自の算定基準で計上してみてはどう だろう。なお、読者アンケートの裏面に、環境に関してのお客様からの意 見・要望・お叱りが掲載されているが、回答例が2つしか紹介されていな い。消費者との対話の中で発展をめざすミニストップとしては、もっとた っぷりとQ&A形式でお客さんの声に応えて欲しいものである。

全米で企業好感度一位を獲得したJohnson&Jonson社は、有名な 「わが信条(Our Credo)」の中で、企業として第1に消費者、第2に従業員、 第3に地域社会、そして第4に株主に責任を負うと明快な表現で表明して いる。この信条は、これからの企業のあるべき姿を示唆しており、多くの 企業経営者と消費者の共感を呼んだ。ミニストップの環境哲学と実践も 内外の共感を呼び、環境分野のみならず経営手法でも業界のリーディン グカンパニーに成長することを望んでやまない。

頂いた方が効果的だと思います。

私たちのような環境に関心の高い学生は、例えばファーストフード 店を選ぶ時に、洗って再使用するカップでコーヒーを出してくれる店 を選んでいます。ミニストップさんのイートインコーナーで洗って使 える食器を使ってくだされば、真剣に取り組んでいる姿勢が必ず伝わ ると思います。他ではできないことですからぜひ実現してください。

そして、現在取り組んでいない課題についても積極的に環境報告 書に記載して欲しいです。見る側からすれば、やろうとしていないの か、技術的・経済的に困難なのか、オーナーさんやお客さまの理解が 得られなくて進められないのかわかりませんので。若い人たちが使 うことの多いコンビニエンスストアですから、環境への取り組みの情 報発信を積極的に行って頂きたいですね。期待しています。



林田 全弘様 日本文化をテーマにしたNPO「手に職」で活動

環境に配慮した商品が欲しくなったらミ ニストップに行けば手に入る、そのぐらい の信頼感が築くことができれば良いと思い ます。信頼感といえば、食品の表示方法も

工夫を凝らして頂きたいです。例えば、おにぎりのパッケージに「減 農薬米」と書いてあるだけのものよりも、どこの誰がそのお米を育て 収穫したのか写真入りでわかりやすく紹介されていた方が安心でき ますね。このような店頭表示は極端な例かもしれませんので、無理 ならば環境報告書の中に生産者の説明があってもいいと思います。

あとは、環境に配慮した行動をとるお客さんが得をする、そんな しくみをつくって欲しいです。例えば、コンビニを利用している大半 は若者と言われていますので、若者の目を惹くようなゲーム性を取 り入れてみるのもいいかもしれません。具体的に言うと、使い終わ ったビンを持っていったり、グリーン商品を買ったりすると、スクラ ッチカードを削ることができ、当たりが出たら景品をもらえるしくみ があればおもしろいのではないでしょうか。

分別やグリーン購入など、環境に配慮した行動には、とかく面倒で お金がかかるイメージがあります。そんな意識を一掃してしまうよう なしくみをぜひミニストップさんから積極的に提言してください。





ミニストップ株式会社

お問い合わせ先/CS本部 環境推進部 川越靖史・橋本晴雄・岡村幸代

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-1 神田橋安田ビル3F

TEL. 03-3259-5284(ダイヤルイン) FAX. 03-3294-2051

 http://www.ministop.co.jp/
 本報告書は左記のインターネットホームページでもご覧いただくことができます。また、PDF形式のダウンロードもできます。

 発行日 2001年5月 通算第2号
 次回発行日は2002年5月を予定しています。
 制作協力/株式会社クレアン

日本人の主食の代表格であるお米。一粒一粒のお米には、お百姓さんの八十八の苦労と愛情がこめられていると昔から言われています。 そして、その一粒一粒には生命が宿り、私たちの体と同じものからできています。

ミニストップでは、環境問題全般に幅広く取り組むと同時に、お米一粒一粒の生命も大切にしていきたいと考えています。「できる限り、できることから…」をモットーに始めている、減農薬米の導入や生産農家と一緒に行う稲刈りもそのひとつ。今後も毎年続けていく方針です。





